

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会体育 専門課程	スポーツインストラクター科	夜・通信	6単位	6単位	
	アスレティックトレーナー科	夜・通信	10単位	9単位	
	スポーツトレーナー科	夜・通信	6単位	6単位	
	スポーツ保育科	夜・通信	10単位	9単位	
	スポーツビジネス科	夜・通信	6単位	6単位	
	スポーツITトレーナー科	夜・通信	6単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R3.6.1 ~ R7.5.31	法務
非常勤	弁護士	R6.4.1 ~ R10.3.31	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。 公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/docs/schoolinfo.pdf">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/docs/schoolinfo.pdf</a>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p>なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/docs/schoolinfo.pdf">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/docs/schoolinfo.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		社会体育 専門課程	スポーツインストラ クター科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	108 単位	11 単位	19 単位	0 単位	37 単位
			175 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		90 人	1 人	7 人	9 人	16 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
学修支援等
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	1人 ( 2.4%)	40人 ( 95.2%)	1人 ( 2.4%)
（主な就職、業界等） フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売			
（就職指導内容） 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートスタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>			
（主な学修成果（資格・検定等）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者</li> <li>・一般社団法人日本フィットネス産業協会 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定 3 級</li> <li>・専門士</li> </ul>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93人	7人	7.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		社会体育 専門課程	アスレティックトレーナー科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位	99 単位	9 単位	7 単位	0 単位	42 単位
			157 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		104 人	0 人	6 人	15 人	21 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。  <目指すべき人材像> アスレティックトレーナーの資格を修得し、アスリートだけでなく、健康増進や機能改善を目的としたクライアントに対し、アスレティックトレーニング指導ができる。
学修支援等
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 ( 0%)	30人 ( 96.8%)	1人 ( 3.2%)
（主な就職、業界等） フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売			
（就職指導内容） 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートスタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>			
（主な学修成果（資格・検定等）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人日本トレーニング指導者協会 JATI 認定トレーニング指導者</li> <li>・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー</li> <li>・専門士</li> </ul>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	6人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養関係	社会体育 専門課程	スポーツトレーナー科 (単位制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	143 単位	10 単位	12 単位	0 単位	47 単位
			212 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320 人	245 人	10 人	14 人	14 人	28 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。  <目指すべき人材像> トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層の目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
学修支援等
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
119人 (100%)	2人 ( 1.7%)	108人 ( 90.8%)	9人 ( 7.5%)
（主な就職、業界等） フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売			
（就職指導内容） 会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートスタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>			
（主な学修成果（資格・検定等）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者</li> <li>・NPO 法人日本トレーニング指導者協会 JATI 認定トレーニング指導者</li> <li>・専門士</li> </ul>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
258人	19人	7.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養関係	社会体育 専門課程	スポーツ保育科 (単位制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位	73 単位	21 単位	15 単位	0 単位	22 単位
			131 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	18 人	0 人	6 人	9 人	15 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。
学修支援等
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 ( 0%)	10人 ( 100%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 保育園・幼稚園・各スポーツスクール			
（就職指導内容） 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルースタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> </ul> ・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士</li> <li>・幼稚園教諭二種免許状</li> <li>・専門士</li> </ul>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		社会体育 専門課程	スポーツビジネス (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	105 単位	13 単位	4 単位	0 単位	4 単位
			126 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		62 人	0 人	7 人	4 人	11 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。  <目指すべき人材像> あらゆるスポーツの特性や、スポーツ業界に関わる幅広い知識を有し、社会や消費者が求める商品の開発や提案ができる。また、スポーツを通じて健康や感動を提供するためのイベントの企画や運営ができる。	
学修支援等	
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (%)	16人 (84.2%)	3人 (15.8%)
(主な就職、業界等) フィットネスジム・スポーツチーム・各スポーツスクール・スポーツメーカー・ スポーツ用品販売			
(就職指導内容) 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートスタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・公益財団法人 実務技能検定 サービス接客検定3級 ・スポーツイベント検定 ・専門士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	8人	15.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		社会体育 専門課程	スポーツ IT トレーナー科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	53 単位	25 単位	6 単位	0 単位	8 単位
			92 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		14 人	0 人	8 人	5 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> トレーナーとして ICT ツールを駆使して科学的に分析・解析された運動・トレーニング(競技・ストレングス・コンディショニング)をクライアントのニーズに合わせて提供できる。
学修支援等
(概要) 教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に 2~3 回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2024 年度に卒業生輩出の為実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	1 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

## 学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ インストラクター科	100,000 円	850,000 円	793,931 円	選択授業により金額変動
アスレティック トレーナー科	100,000 円	850,000 円	315,505 円	
スポーツトレーナー科	100,000 円	850,000 円	374,161 円	選択授業により金額変動
スポーツ保育科	100,000 円	750,000 円	236,611 円	
スポーツビジネス科	100,000 円	850,000 円	301,891 円	
スポーツ IT トレーナー科	100,000 円	850,000 円	293,741 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。</p> <p>学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関連企業 部長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業
関連企業 社員	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生
パートナー企業 部長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	業界団体
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/disclosure/tokyo-sports/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H13310500130
学校名	東京リゾート&スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		67人	57人	68人
内訳	第Ⅰ区分	37人	33人	
	第Ⅱ区分	19人	17人	
	第Ⅲ区分	11人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				68人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-	0人	-
「警告」の区分に連続して該当	-	-	-
計	-	-	-
(備考) 「右以外の大学等」欄には 修業年限3年以上の学科の人数を、「短期大学 修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。 高等専門学校 認定専攻科を含む。 及び専門学校 修業年限が2年以下のものに限る。」欄には 修業年限2年以下の学科の人数を、それぞれ記入			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-	-	-
計	-	-	-
(備考) 「右以外の大学等」欄には 修業年限3年以上の学科の人数を、「短期大学 修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。 高等専門学校 認定専攻科を含む。 及び専門学校 修業年限が2年以下のものに限る。」欄には 修業年限2年以下の学科の人数を、それぞれ記入			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。